

令和
6年度

COMPASS 発達支援センター鍋島

事業所における自己評価総括表(公表)

○事業所名	COMPASS 発達支援センター鍋島
○保護者評価実施期間	令和6年9月1日～令和6年9月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 10名 (回答者数) 10名
○従業者評価実施期間	令和6年9月1日～令和6年9月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 9名 (回答者数) 9名
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年10月25日

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	机に向かう学習だけでなく、季節のイベントとして児童が楽しめる活動を実施しております。	毎回、児童が楽しんで取り組めるように、月ごとの製作やイベントでは内容を変える工夫を行い、興味を持てるよう心がけております。	今後は季節のイベントだけでなく、日常の中でも集団で取り組める活動を増やし、児童にとってより楽しく充実した時間を提供できるよう取り組んでまいります。
2	園児と同じ時間帯に利用することがあるため、普段の学校生活では関わる機会が少ないお友達とも交流が持てるように工夫しております。	園児と小学生で活動の場を分けずに課題やイベントを行うことで、さまざまな年代の児童と関わる機会を持てるよう取り組んでおります。	イベントなどを通じて、園児と小学生でペアをすることで、より多くの児童同士が関わりを持てるよう取り組んでまいります。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ワンフロアの構造のため、他の児童がいる際には落ち着いた環境で課題に取り組むことが難しい場面があります。	他児の声や遊ぶ様子が聞こえたり見えたりすることで、課題に集中しづらくなることがあります。	パーティションなどを活用し、できるだけ刺激を減らすことで、集中できる環境を整えてまいります。
2	園児と同じ時間帯に利用するため、ご利用の時間帯によっては事業所内が手狭になり、小学生の児童が十分に身体を動かして取り組めるスペースが限られてしまう場合があります。	園児と小学生が同じスペースで活動することで、場所が限られ、活動量を調整してもらう必要がある場面もあります。	今後は時間帯に応じて園児と小学生の活動スペースを分け、小学生の児童が安心して活動できるスペースを確保できるよう取り組んでまいります。
3			